



於保樹の活動報告

ようやく、4〜5月の農繁期が落ち着く目処が見えてきました。(まだまだ、やり残しがあり焦ってはいますが)

田んぼ

4月の下旬から、田起こしく代掻き〜田植えとせわしない日々を過ごしました。去年は田んぼの流れがなにもわかりませんでした。2年目ということもあり日程のスケジュールを組めるようになりました。ただ、機械の操作や肥料を撒くタイミングといった細かいことは把握しきれていなかったもので3年目には極力一人でこなせるようにしたいですね。毎日、水の見回りを欠かさず、成長を見守っていきます！



田植え

菌床シイタケ

培養し始めて1カ月くらいが経過しました。大分、菌がまわりはじめましたが、とことん遅いのもあります。一体なにが原因なのだろうか。雑菌が入り使えないものも出てきてしまいます。悔しいですね。



培養様子

4月の活動報告

山本亜矢

ありが隊として活動し始めて1ヶ月が経ちました。たくさんの人と出会い、たくさんの初めてを経験し、毎日目まぐるしく刺激の強い日々を過ごさせてもらっています。みなさん温かく迎え入れてくださり、本当にうれしい限りです。

【農林業公社にて】

まだ言われたことをただついてやるだけですが、「定植」「マルチ」といった初めて耳にした単語を覚え、少しずつ会話が理解できるようになった気がします。

また、鉢上げという作業をしました(まき床や育苗床で育てた苗を、掘り上げて鉢やポットに植えつける作業)。あんなに小さかった苗や種が葉をつけ、日々大きくなっていくのを見ると、なぜか可愛く見えてくる不思議。大きく立派な姿に成長してくれそうですように。



【お茶摘み】

5月1日から中井侍地区では茶摘みが始まりました。いろいろな場所に顔を出させてもらっています。私はまだまだ亀のペース。精進あるのみです。

活動報告

渡邊美里

〇畑

畑はまだまだ起こしている最中でとても焦っています。お借りしている畑がしばらく耕作していなかった場所で、ススキの株がたくさん！ススキの根は強く、耕運機も、備中鍬や普通の鍬でも歯が立たず、スコップで掘り起こしています。これがなかなか時間がかかって大変です。でも今年ちゃんと耕してしまえば来年から楽になると思って頑張っています！

先月起こした畑には、ネギとジャガイモと小松菜を植えました。土づくりにもこだわりたいと思っていたのですが、植える時期が迫ってきて残念ながら時間切れ。種に謝りたくなくなるくらいのがサガサな土に植えてしまいました。そんなわけで発芽も厳しいかと思っていたのですが、ネギの苗はしっかり根付いてくれて、小松菜とジャガイモも発芽してくれて感動しました。

〇田んぼ

人生初稲作！田んぼの無い地域で生まれ育っているので代掻きや畔塗りなどの単語も知らないところからのスタートでした。み見よう見まねでなんとかトラクターに乗り、田起こしを二枚、代掻きを一枚弱、行いました。今年は大七枚の田んぼを耕作させて頂いているので、私が耕したのはごく一部ですが、とても大変でした。乗用車とは全然違う曲がり方だったり、後ろに付いている機械の大きさの感覚がわからなかったり、そもそもまっすぐ運転するのが難しい、、、。あと何年やれば一人前に運転できるのか、考えると気が遠くなりますが毎年一歩ずつ前進できるようにしていきたいです。

〇林業

今月は、初めて二動の集材機を運転させていただきました。ミスをすると大怪我に繋がりがかねないので、とても緊張しました。これからたくさん経験を積んでいきたいです。



↑ ススキがたくさんあった畑



↑ 二動の集材機

モチコのお天龍やんやんや

文 望月ひとみ

●循環型農業で地域内自給をめざす
【種と苗のはなし】

新緑の季節。清水の育苗ハウスで作業をしていると、ゲツゲツといつかわいいダミ声、ひゅるるると木をつついていく音、いろいろな鳥の命の息づかいを感じます。青い空と山の緑と、生き物の音楽につくづく天龍はいいところだなあと感じます。さて、清水の育苗ハウスでは、ていぎなす苗が順調に大きくなり配苗時期を迎えることが出来ました。ひとつひとつの苗をケースに詰めているとお渡ししていくのでまだしばらく苗とのお付き合いです。十久保南蛮の苗は六月上旬ごろから末までにかけて、配苗できるよう管理しています。今年はどうやら二千本強の苗をたてました(組合員分)。

ところで、五月の連休中、旧友が家族で遊びに来てくれたので育苗の様子を見せながら話をしたところ、「たしかに苗がなければ野菜は出来ないね、今まで考えたことがなかった。重要な仕事だ」とのコメント。種を蒔き、よい苗があつてこそ、良い作物になります。米作りをされている方は苗の重要性をよくご存じかと思えます。地域内に良い苗をつくる人がいることは、在来種の種があることと同様に地域の宝だと感じます(注・私のことではない)。先日、天龍村伝統野菜の伍三郎うり復活

写真でみる5月のある日...

5/5 自家採種のたかきび播種



5/9 砂浴びして寛ぐにわとり達



5/3 WACHI CAFE フリーズドライのていぎなす使用カレーランチ

ストーリーを取材していただきました(南信州新聞)。たまたま、であれ、種が繋がったことは、人と人とのつながりが日々連続と良い関係性を保ってきたからです。そのような素晴らしい関係性の中に入れて下さっていた下さり暮らせることを、とてもありがたく思います。

種から作物をそだて、成ったものをいただく、また種をとる。この一連のことは昔の人は皆やっていたこと。

えごまやたかきび、もちきびについては天龍村で集落支援員さんのリードでつないでいっていることも本当に素晴らしいことだと思えます。これからも、一人でも多くの方が種をとるところまで自分の農事とするような世になつたらと願っています。今日も何かの種を蒔く初夏です。